

火災現場の危険を再確認！ 「消防団安全管理研修」

ときがわ消防団は10月27日(木)、消防署ときがわ分署にて、消防団の中核を担う部長・班長の階級を持つ団員を対象に、安全管理研修を行いました。安全管理とは、危険性を伴う消防活動の実施にあたり、事故の発生を未然に防止し、事故要因を合理的に除去することを目的とするものです。研修内容は、「火災現場での指揮者の役割」「消火戦術」などを題材に実施。事故防止のためには、危険に対する感覚、感受性を養い、危険を正しく予知・予測し、事前に必要な手を打つことが重要です。それが安全対策につながることを、改めて認識した研修でした。

主催した小川消防署ときがわ分署は、「今後も住民に愛される消防団を目指し、災害・訓練時には安全管理を徹底し、事故の無い消防活動を目指すとともに、ときがわ消防団が地域防災の中心であることを自覚しながら責務を全うし、そして地域から愛され、信頼されるときがわ消防団となるよう邁進してまいります」と話し、決意を新たにしました。



ときがわ消防団の部長・班長の方々が、現場の危険を改めて確認しました。

写真説明

ときがわ町で開催！ 「人権フェスティバル」

11月19日(土)、ときがわ町文化センターにおいて、「第20回比企郡市人権フェスティバル」が開催されました。メインイベントは元日本テレビアナウンサーの藪本雅子さんによる講演会。「報道(メディア)と人権」と題して、ハンセン病患者との関わりから女性差別まで、今も続く人権問題とその解消に向けた自身の活動を、経験や取材をもとに、鮮烈にお話しくださいました。



講演する藪本さん。「差別解消のためには、近くの人の言動が差別だと感じたらそれを指摘することが第一歩」との言葉が印象的でした。

写真説明

中学生の「税についての作文」 優秀賞を受賞

関東信越国税局等(東松山税務署、東松山地区納税貯蓄組合連合会及び東松山地区租税教育推進協議会)が租税教育の一環として、管内の中学生に対して募集を行った「税についての作文」の表彰式が11月24日(木)に行われ、玉川中学校4名の作品が優秀作品として表彰されました。おめでとうございます。



ときがわ町長賞 「幸せに暮らすための『税』」3年 野口紗耶さん(1列目左から1人目)
東松山税務署長賞 「人を育て、未来へつなぐ」3年 市川慶さん(1列目左から2人目)
埼玉県納税貯蓄組合総連合会優秀賞 「税の大切さ」3年 岸希美さん(1列目右から2人目)
東松山地区納税貯蓄組合連合会長賞 「税金と教科書」3年 松本美咲さん(1列目右から1人目)

受賞した4名には、表彰状と記念品が贈呈されました。授賞式は厳かな雰囲気の中行われ、緊張した様子も見受けられましたが、記念写真では、にこやかな笑顔も見られ、和やかな雰囲気となりました。

写真説明

都幾川へ向け「放水始め！」 ときがわ消防団放水訓練

11月20日(日)、坪ノ内橋下流の都幾川の河川敷において、ときがわ消防団による放水訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、例年行っていた特別点検は中止となりましたが、実戦に即した機械器具の点検の必要性を考慮し実施されたものです。渡邊町長は「火災は予防が大事。ときがわ町は山林火災が多いので、普段から、特に山で煙がないかを注視してしてほしい。また、消防団が先に現地に到着することもある。安全には十分注意してほしい」と話し、団員は厳かな表情で聞き入っていました。



都幾川に向かって放水するときがわ消防団。

写真説明

東松山間税会の「税の標語」 玉川中学校の優秀作が表彰される

東松山間税会主催、国税庁後援の令和4年度「税の標語」の募集を行った結果、玉川中学校から多数の応募があり、11月22日(火)に玉川中学校において優秀作が表彰されました。おめでとうございます。



埼玉県間税会連合会会長賞 「消費税 一番身近な わたしの税」 3年 岸希美さん(1列目右から1人目)
東松山間税会会長賞 「明日のため 未来のために 消費税」 3年 新田礼人さん(1列目左から1人目)
東松山間税会青年部長賞 「税金は 暮らしを支える 宝物」 3年 小林璃玖さん(2列目左から1人目)
関東信越税理士会東松山支部支部長賞 「税金が 豊かな暮らしを支える」 3年 野口紗耶さん(2列目中央)
東松山税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞 「税金は 暮らしを支える スーパーマン」 3年 長谷川さくらさん(2列目右から1人目)

受賞された生徒の皆さん。

写真説明